

令和 2 年度（2020 年度）第 4 回熊本市教科用図書選定委員会

議事録

委員長	<p>議案 中学校教科書採択について協議をする。</p> <p>本日は、公民、数学、国語、書写の 4 種目の教科書についての報告を受け、協議をする。各種目とも、報告・協議合わせて 35 分を予定している。時間に限りがあるので、ご協力をお願いします。</p> <p>それでは、公民の報告をお願いします。</p>
研究記録員	<p>《研究記録員 公民 調査・研究結果報告》</p>
委員長	<p>続いて、教科書展示会の意見・感想について事務局から報告をお願いします。</p>
事務局長	<p>《事務局長 教科書展示会意見・感想報告》</p>
委員長	<p>質問・協議に入る。質問や意見があれば出していただきたい。</p>
委員	<p>対立と合意、効率と公正について、それぞれの教科書で説明していただいたが、どのような学習の流れの中で位置づけてあるのか具体的に説明していただきたい。</p>
研究記録員	<p>対立と合意、効率と公正については、各社とも最初の方で取り扱っている。東書を例にすると、24 頁で社会集団の中においては対立と合意が存在すること、26～27 頁で身近な話題、例えば各部活動が体育館を使う時にどのようにして調整するかを提示し、それを 28～29 頁において、法律的な見方や公正な見方から考えるとどうかを取り扱っている。126 頁に、「もっと公民、空き家や廃校は 新たな資源」とあるが、「それらを活用することの意義について、効率の観点から説明しましょう」という形で考えさせている。このように、生徒に対して身近な話題から少しずつ広げ、グローバルな課題に向かうようになっていく。東書と日文において、多くの記載があった。</p>
委員長	<p>今の回答でよろしいか。他に何かないか。</p>
委員	<p>教出の調査報告書で、観点 8 番の人権教育の 21～25 頁に男女差別、障がい者差別についてバランスよくとても配慮された記述がされているとあるのだが、教出の 21～25 頁は、「伝統文化の尊重」についての記述がなされていて、その内容には当たらないかなと思う。40 頁から先の方、特に 50 頁から、いろいろな人権についての記述があると思うので、ここが当たるのではないかなと思う。</p>
研究記録員	<p>52～53 頁に、「ともに生きる社会を目指して」というテーマの中で、コラムを設けるなどして特集が組んである。ご指摘の 21～25 頁は該当していない。</p>
委員長	<p>それでは、報告書 64 頁の観点 8 のところの上から 5 行目にある頁数が 21～25 ではなく 52～53 というところで訂正をお願いします。</p>

委員	観点7「伝統文化」については、東書と育鵬が◎。観点8「人権教育」についても他の教科書もよくできているように思うが、例えば、東書と教出では他とどう違うのか回答いただきたい。
研究記録員	まず、伝統文化で説明する。内容量と写真の枚数にも差があり、東書と育鵬が充実している。どの教科書も検定を経ているので、最低限の記述、内容にはなっている。 人権については、同和問題や女性の人権、子供の人権等様々な人権問題の重要課題について、どの教科書も記載されている。その中で、特に詳しい、丁寧な記述があるのが東書と教出である。障がいのある方への理解やインクルージョン、性の多様化について等、今日的な問題についても丁寧な記述がされているのがその東書と教出2社と判断している。
委員長	今の回答でよろしいか。 他にご意見はないか。 それでは、まとめをする。報告書の64頁に1点訂正があった。 各社それぞれに特色があったが、調査報告の内容は妥当であるということ でよろしいか。 これで、「公民」についての協議を終了する。
委員長	次に、調査・研究結果の報告を数学研究員代表者にお願ひする。
研究記録員	《研究記録員 数学調査・研究結果報告》
委員長	続いて、教科書展示会の感想・意見について、事務局から報告をお願ひする。
事務局長	《事務局長 教科書展示会感想・意見報告》
委員長	質問及び協議に入る。
委員	私事だが、すでに中学校で教科書を使って60年になる。そのとき熊本市の中学校は、啓林館の教科書だった。いろいろな方に聞くと、60年間継続して啓林館ではないか。そのときそのときに適切に判断していたと思うので、そのこと自体は問題ではない。そういう視点で見ると、先生方、学校からの意見も集中している。学校からの意見の中の19頁に内容的は変わらなかった、移行はしっかり反映されていた、という意見があって、変わらないことにそれなりの利点なり何なりを感じられているのかなと思う。変わったら大変だということのももしかしたらあるかもしれない。
研究員代表	調査をする上では、現行の教科書が啓林館であることは、一切排除した上で、純粋に今回検定を通ってきた7つの教科書を比較調査した。
委員	啓林館の「みんなで学ぼう編」「自ら学ぼう編」があるが、これはどうか。
研究員代表	調査研究員としては、とても使いやすい。現行のものは分かれて分冊で作ってあり、分冊になると、生徒の中には片方忘れてくるとか、無くしてしまうということがあって、今回は合冊になっている。十分配慮されているのは、頁の向きが変えられていて、後ろの方の頁は縦に開いて問題を解いていくよ

委員	<p>うな形で、生徒にとっては取り組みやすくなっていると思った。</p> <p>保護者の立場としてのお願いである。数学に関しては学習の部分で難しい分野だと実感している。子供から分からないといわれたが、学校に行って先生の言うこと、教え方を聞きなさいと言っている。家で学習する際に、やはり、頼りになるのは教科書である。一人で勉強するのに教科書を見れば分かるという視点から、今回の教科書選定委員会が行われればよいという感想をもった。</p>
委員	<p>小学校から見ても、算数・数学は子供の学力差がついている教科である。今、啓林館は、「みんなで学ぼう」「自分から学ぼう」という主体的なところをしっかりと工夫してあるが、他の教科書でも、小学校から苦手なところがある子供たち、逆に算数・数学好きで発展的な意欲をもった子供たちに対する手立てで特徴的なものがあれば内容を教えてほしい。</p>
研究員代表	<p>総じて言えばどの教科書会社も、小学校との関連を意図しながら編成していると思った。その中でも、啓林館はとても優れていると思っている。数学、算数の苦手な子に対して補充的な教材がたくさん準備されているし、それがQRコードでWebの問題ともつながるように工夫されている。少し問題のクオリティには教科書ごとに見ると差はあったが、意図的に編集されていることは大きな差はなく、作られていた。</p>
研究記録員	<p>今のQRコードの話だが、啓林館はそのページ、そのページにQRコードが載せられている。学図もあるが、数が少ない。併せて啓林館は、1つの問題ごとに解説が見られるようになっている。だから、難しいと感じている子供が家に帰った時に、自分で勉強したいときにそこを開いてなぞっていけば、「そういうことか」ともう一回家庭学習ができる工夫がされている。</p>
副委員長	<p>マトリックス表を見せてほしい。数学だからそこまで考えなくてよいと思うが、人権教育のところ学図だけが○になっている。意見書では教出とあまり変わらないが、学図だけ○である理由を教えてください。</p>
研究員代表	<p>今回の新しい教科書は、人権教育の視点を捉えて、ほとんどの教科書を◎とした、学図に関しては、節ごとに章の色を奇数が赤色、偶数が青色と色分けがしてある。その上で、赤色の節、奇数の章については、教科書の中の生徒の会話が必ず女子から始まるように編集されていて、奇数の章は男子から始まって、男女男女というふうに構成されている。これを調査の段階では、偶数ならば女子で、奇数ならば男子で、もっと言えば赤ならば女子で、青ならば男子になっていることを少し懸念して、一重丸と評価したところである。</p>
委員長	<p>まとめをする。調査報告の内容は妥当であるということによろしいか。これで「数学」についての協議を終了する。</p>
委員長	<p>次に、中学校国語の調査・研究結果の報告をお願いします。</p>
研究記録員	<p>《研究記録員 国語調査・研究結果報告》</p>

委員長	続いて、教科書展示会の感想・意見について、事務局から報告をお願いします。
事務局長	《事務局長 教科書展示会感想・意見報告》
委員長	質問及び協議に入る。質問・意見があれば、出していきたい。
委員	全ての教科書が、最後に基礎編・資料編とまとめてあり、国語のトレンドのような感じだが、使い勝手はどうか。
研究員代表	東書においては、最初の学習材から、後ろの基礎編に移り、基礎編で学習した言葉の力を基に、元（の学習材）に戻って学習を深める、というシステムがしっかりと構築されている。他の会社も後ろに資料編としてまとまってはいるが、東書の基礎編との関連付けが一番分かりやすい。
副委員長	東書の評価が全体的に高いのだが、弱いところ、観点4、観点8について、なぜ○なのか。どういう観点で○なのか。
研究員代表	東書は、学び方に力を入れている。観点4について○になっているところは勤労観・職業観かと判断した。オリバラ教育についての記載もある。将来の目標や計画等もあるが、少し抽象的で読み物に集中していると思われ○にした。また、観点8人権尊重の精神についても、同じように読み物から感じとるということで、○評価とした。
委員	感想を述べる。 それぞれの教科から熊本市の子供たちの実態についての報告があったが、社会や数学とかでは、自ら調べ探究していくこと、資料を活用することが、課題として挙げられていた。その後、今日の国語の報告を聞くと、「伝えたいことを根拠に明確にして書く」が、見事に本市の課題とつながっていると感じた。国語の授業は、それぞれの授業をまとめるベースになるものであるし、そういう意味では、「根拠を明確にして書く」ということに関して、国語の先生方への期待が大きい。英語もそうだと思うが、熊本市がこれから求めるものとストレートにつながっている。三省堂が「三角ロジック」という言葉を記載しているが、熊本市の課題解決のキーワードになるのではないかと感じた。
研究員代表	調査研究員が1番注目したのは、子供たちの無回答である。言葉に興味をもって、自分の考えをもたせたいというところから出発している。国語での学びが、日常生活や他教科で生きるものになりたい、ベースとなる教科であるということも中心に教科書を見た。どの教科書も学び方が丁寧に記されている。ただし、その違いは、それが解説的・説明的であるのか、その学び方が子供たちの意欲を引き出す主体的なものになっているのか、という点について、4つの教科書がそれぞれ違っていたのでまとめた。
委員	教科書にはそれぞれよしあしがあると思う。実際現場で指導される場合、手元にある採択された出版会社の教科書での授業になると思うが、例えば、本当だったらこれは他の出版会社のがいいと思われた場合は、他の教科書会社のを参考にされることもあるのか、あくまでも決められた教材だけでの指

	導になっているのか。
研究員代表	今、どの教科書を見ても、その教科書だけでも十分やっていけるのではないかと実感している。
委員長	では、まとめをする。只今の調査報告の内容は妥当であるということによるしいか。これで「国語」についての協議を終了する。
選定委員長	次に、調査・研究結果の報告を書写研究員代表者をお願いします。
研究記録員	《研究記録員 書写調査・研究結果報告》
選定委員長	続いて、教科書展示会の感想・意見について、事務局から報告をお願いします。
事務局長	《事務局長 教科書展示会感想・意見報告》
選定委員長	質問及び協議に入る。質問・意見があれば、出していただきたい。
委員	教科書のことではなく、子供たちの実態を知りたい。久しぶりに書写の教科書を見たのだが、昔からの手本に忠実に、整えて早く書くことに、新鮮な驚きなのだが、今の子供たちが毛筆で行書を書いて、硬筆で書くという、硬筆で行書を書くという場面を見たことがない。学校に出すものは楷書で書くが、書けているものなのか。
研究代表者	実際見てみると、行書で書く場面は、ほぼ見られない。残念ながら、書写で学習したこと子供たちの日常生活、学校の中で生かす工夫をしていかなければ書けるようにはならない。例えば、社会科のノート、国語は勿論、早く書かなければならないことを自由に行書で書けるようにすることを積み重ねていく中で、日常で生かせるようになるのではないかと思っているが、残念ながら書写の中で完結しているところが国語の教師が他の先生方の協力を得ながら、取り組んでいかなければならない課題だと思っている。漢字テストは楷書、入学願書も楷書、そういった区分けを子供たちにきちんとさせるためには、普段から言っておかなければ無理である。当然、他教科の先生にもご理解いただかなければならない。
委員	質問というより思いである。1時間の授業で楷書から行書、それから硬筆の行書、そこまで実際は難しいのではないかという感じを受けた。楷書をきちっとできなければ、それを行書に崩していくことは難しい。当然それはわかっていると思う。要は人がきちんと読める字を書くことを一番大事にしなければならないという気持ちをもっている。仕事として大変だと思うが、字の乱れが見られるので、子供たちがきれいな字、読みやすい字を書けるような授業につなげていただきたい。
部長	さらに、動画が見られるのであればお願いしたい。
研究代表者	東書から、教出（解説なし）、光村（朱墨が特徴）の順に視聴する。

選定委員長	<p>まとめをする。調査報告の内容は妥当であるということによろしいか。 これで「書写」についての協議を終了する。</p> <p>本日は、公民、数学、国語、書写の4種目の教科書についての報告を受け、協議をした。4種目とも調査報告の内容は妥当であったということによろしいか。これで本日の協議を終了する。</p>
-------	---